

4/26 やすらぎで震災支援報告会をしました！

支援に行かれた今宮君の報告会をやすらぎで行いました。入居者さんからも、「お帰りなさい」「ご苦労様～！」との掛け声。スライドを活用しながら、被災地の様子や支援活動での思いを語ってもらいました。(詳しくは支援報告①～③をどうぞ！) 今後の支援について、山下施設長から報告もされました。これから、わたしたちに何ができるでしょうか。皆で考えていきましょう。



4/17～23 やすらぎの今宮君の報告です！

「宮城野の里、災害ヒナン処”まるふく”支援報告②」



アニマルセラピー



たこ焼きパーティー



お花見

まるふくでの活動を通じて感じたこと

宮城県の土地柄からか、皆さん穏やかで温厚な方ばかりでした。自分たちの話にも熱心に耳を傾けてくれたり、仙台のことなど皆さんで楽しく談笑し、まるふくにはいつも笑顔が溢れていました。それでもやはり被災された方の不安はいつまでも尽きません。笑顔の裏には、いつ地震が来るかわからない不安や、これからまるふくを出て生活していかなければいけない不安。いろいろな不安を抱えて生活しているのが話をしていくことで垣間見れました。中には地震の影響で夜になるとせん妄状態になり、徘徊を繰り返したり、精神的に落ち着かれない方もいました。

余震は体感的には、震度3・4程のものが2秒ほどの軽いものばかりでした。ある日の夜、震度4程の余震が約30秒ほど続きました。利用者はみんな飛び起きました。その後も、なかなか寝付けられない方も何人かいたみたいです。

まるふくで生活していく中で、ストレスはたまっていくもの。いろいろな企画をしました。富山からボランティアでアニマルセラピーをしてくれたり。お花屋さんがきたり。支援者からは、たこ焼きパーティーや誕生日会・結婚44周年のお祝いなどをしたようです。いろいろお話を聞くだけで、助かっている。との話でしたが、今後は被災地の方の、余暇活動や癒しなどの時間がとっても大切になっていくのではないかと思います。